

平成29年度

推薦入試学生募集要項

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）

人 文 社 会 科 学 部
地 域 教 育 文 化 学 部
理 学 部
医 学 部（看護学科）
工 学 部 昼 間 コース
工 学 部 フレックスコース
農 学 部

推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）

理 学 部
医 学 部（医 学 科）
工 学 部 昼 間 コース
（高分子・有機材料工学科）
（情報・エレクトロニクス学科）
（機械システム工学科）



山形大学
Yamagata University

目 次

I	入学定員・募集人員	1
II	推薦入試共通事項	
1	推薦入試に係る留意事項について	2
2	受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談について	3
3	入学試験情報開示について	3
4	山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）	4
5	推薦入試に関するお問い合わせについて	4
6	出願書類の提出先及び入学者選抜に関するお問い合わせ先について	4
III	推薦入試 I（大学入試センター試験を課さない推薦入試）	
1	出願受付期間等	5
2	出願書類及び出願手続	5
3	学部別募集要項細目	
	人文社会科学部	7
	地域教育文化学部	10
	理学部	15
	医学部（看護学科）	17
	工学部昼間コース	18
	工学部フレックスコース	21
	農学部	22
4	受験者心得	23
5	合格者の発表	24
6	入学手続	24
7	授業料	24
IV	推薦入試 II（大学入試センター試験を課す推薦入試）	
1	出願受付期間等	25
2	出願書類及び出願手続	25
3	学部別募集要項細目	
	理学部	28
	医学部（医学科）	33
	工学部昼間コース（高分子・有機材料工学科，情報・エレクトロニクス学科，機械システム工学科）	35
4	受験者心得	37
5	合格者の発表	38
6	入学手続	38
7	授業料	38
V	山形大学試験場案内図	39
VI	出願書類	
●	入学願書・写真票・受験票【推薦入試 I（大学入試センター試験を課さない推薦入試）用】	
●	入学願書・写真票・受験票【推薦入試 II（大学入試センター試験を課す推薦入試）用】	
●	推薦書	
	推薦書記入上の注意	
●	志望理由書（工学部昼間コース及びフレックスコースの志願者は提出する必要はありません。）	
	志望理由書記入上の注意	
●	読書感想文記述用紙（人文社会科学部人文社会科学科総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコース用）	
●	演奏曲目届出書（地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース（実技系（音楽））用）	
●	スポーツ活動に関する調査書（地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース（実技系（スポーツ））用）	
●	払込書（人文社会科学部，地域教育文化学部，理学部，医学部，工学部昼間コース，農学部用）（17,000 円）	
●	払込書（工学部フレックスコース用）（10,000 円）	
●	ラベル票	
●	受験票送付用封筒	
●	出願書類提出用封筒	
★	大学案内及び各学部のパンフレット請求方法	

◎ 推薦入試出願受付期間

試験を課さない推薦入試 推薦入試Ⅰ（大学入試センター）	人文社会科学部	平成28年11月1日（火）～平成28年11月4日（金）必着 （祝日を除きます。）
	地域教育文化学部	
	理学部 理学科 ・数学分野受験 ・物理学分野受験	
	医学部 ・看護学科	
	工学部昼間コース	
	工学部フレックスコース 農学部	
試験を課す推薦入試 推薦入試Ⅱ（大学入試センター）	理学部 理学科 ・数学分野受験 ・化学分野受験 ・生物学分野受験 ・地球科学分野受験	平成29年1月16日（月）～平成29年1月19日（木）必着
	医学部 ・医学科	平成28年11月1日（火）～平成28年11月4日（金）必着 （祝日を除きます。）
	工学部昼間コース ・高分子・有機材料工学科 ・情報・エレクトロニクス学科 ・機械システム工学科	平成29年1月16日（月）～平成29年1月20日（金）必着

◎ 一般入試学生募集要項

- ・公表時期 平成28年10月下旬
- ・出願受付期間 平成29年1月23日（月）から平成29年2月1日（水）まで（土・日曜日を除きます。）
持参の場合：平成29年2月1日（水）まで必着とします。
郵送の場合：平成29年1月31日（火）までの消印のある「書留速達」のみ、2月2日（木）以降でも受け付けます。

東日本大震災又は平成28年熊本地震により被災された 山形大学学部入学志願者の検定料の免除について

山形大学（以下「本学」という。）では、東日本大震災又は平成28年熊本地震（以下「震災等」という。）で被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、平成29年度学部入学者選抜試験に係る検定料について、次のとおり免除の特別措置を講じます。

1 免除対象となる入学者選抜試験

本学が実施する平成29年度学部入学者選抜（一般入試、AO入試、推薦入試、社会人入試及び私費外国人留学生入試を対象。）とします。

2 対象者

平成29年4月に本学の学部に入学者を志願する方で、震災等により被災し、次のいずれかに該当される方を対象とします。

- (1) 志願者の学資を主として負担する者が震災に際して災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用された市町村（東京都を除く。）に居住（東日本大震災にあつては平成23年3月11日、平成28年熊本地震にあつては平成28年4月14日において当該市町村に居住していた者を含む。）し、家屋等が全壊又は大規模半壊の被害を受けた者
- (2) 学資負担者が震災等により死亡又は行方不明の者
- (3) 学資負担者が震災により失職した者
- (4) 福島第一原子力発電所の事故の際に現在の帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域、計画的避難区域に居住していた者

3 本件に関する申請方法等

詳細は、本学ホームページ「入試案内」でご確認願います。

<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp>

お問い合わせ先：山形大学エンロールメント・マネジメント部EM企画課

TEL：(023) 628-4700

I 入学定員・募集人員

学部	学科・コース		入学 定員	募 集 人 員									
				一般入試		AO入試			推薦入試		社会人 入試	私費 外国人 留学生 入試	
				前期 日程	後期 日程	I	II	III	I	II			
人文社会 科学部	人文社会 科学科	人間文化コース	290	55	10	-	-	-	15	-	-	若干人	
		グローバル・スタディーズコース		25	-	-	-	-	20	-	-	-	
		総合法律コース 地域公共政策コース 経済・マネジメントコース		110	20	-	-	-	35	-	若干人	若干人	
	計		290	190	30	-	-	-	70	-	若干人	若干人	
地域教育 文化学部	地域教育 文化学科	児童教育コース	80	55	13	-	-	-	12	-	若干人	若干人	
		文化創生コース	95	(※1)55	(※1)12	(※1)5	-	-	(※1)23	-	若干人	若干人	
	計		175	110	25	5	-	-	35	-	若干人	若干人	
理学部	理学科		210	(※2)136	30	-	-	-	(※2)12	(※2)32	-	若干人	
	計		210	136	30	-	-	-	12	32	-	若干人	
医学部	医学科		125	(※3)85	10	-	-	-	-	30	-	若干人	
	看護学科		60	35	5	-	-	-	20	-	-	若干人	
	計		185	120	15	-	-	-	20	30	-	若干人	
工学部	昼間 コース	高分子・有機材料工学科	140	88	10	-	2	5	30	5	-	若干人	
		化 学 ・ バイ オ工学科	140	(※4)	約 45	10	-	1	5	9	-	-	若干人
				バイオ化学工学コース	90	約 45	10	-	1	5	9	-	-
		情報・エレクト ロニクス学科	150	(※5)	約 44	10	-	1	5	10	5	-	若干人
				電気・電子通信コース	88	約 44	10	-	1	5	10	5	-
		機械システム工学科		140	88	12	-	2	5	24	9	-	若干人
		建築・デザイン学科		30	17	7	-	1	-	5	-	-	若干人
		計		600	371	69	-	9	30	97	24	-	若干人
	フレックス コース	システム創成工学科	50	35	5	5	-	-	5	-	若干人	-	
		計	50	35	5	5	-	-	5	-	若干人	-	
農学部	食料生命環境学科		165	95	30	-	-	-	40	-	-	若干人	
	計		165	95	30	-	-	-	40	-	-	若干人	
合 計			1675	1057	204	10	9	30	279	86	若干人	若干人	

(※1) 地域教育文化学部文化創生コースは、次の「選抜区分/募集人員」で選抜を行います。

○一般入試(前期日程)/55人…「文科系あるいは理科系/17人」、「実技系(美術)/10人」、「実技系(音楽)/14人」、「実技系(スポーツ)/14人」

○一般入試(後期日程)/12人…「文科系あるいは理科系/12人」

○AO入試I/5人…「実技系(美術)/1人」、「実技系(音楽)/2人」、「実技系(スポーツ)/2人」

○推薦入試I/23人…「文科系あるいは理科系/6人」、「実技系(美術)/5人」、「実技系(音楽)/6人」、「実技系(スポーツ)/6人」

(※2) 理学部理学科は、次の「選抜区分/募集人員」で選抜を行います。

○一般入試(前期日程)136人…「数学分野受験/38人」、「物理学分野受験/26人」、「化学分野受験/35人」、「生物学分野受験/22人」、「地球科学分野受験/15人」

○推薦入試I/12人…「数学分野受験/7人」、「物理学分野受験/5人」

○推薦入試II/32人…「数学分野受験/10人」、「化学分野受験/7人」、「生物学分野受験/5人」、「地球科学分野受験/10人」

(※3) 医学部医学科「一般入試(前期日程)」募集人員85人の内訳は、「一般枠」77人、「地域枠」8人となります。ただし、「地域枠」合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員は「一般枠」の募集人員に加えます。なお、「地域枠」志願者は、全員「一般枠」の併願者となります。

(※4) 工学部化学・バイオ工学科「一般入試(前期日程)」募集人員90人の内訳は、各コースの志願者からそれぞれ40人程度を成績順に合格者とし、残りの10人程度を学科の成績順に合格者します。

(※5) 工学部情報・エレクトロニクス学科「一般入試(前期日程)」募集人員88人の内訳は、各コースの志願者からそれぞれ40人程度を成績順に合格者とし、残りの8人程度を学科の成績順に合格者します。

(注)1 工学部の「昼間コース」は、昼間に授業を行う課程であり、「フレックスコース」は、主として夜間に授業を行います。昼間の授業の履修も可能な課程です。

2 AO入試及び推薦入試において、合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員は前期日程の募集人員に加えます。

3 社会人入試の募集人員(若干人)は、前期日程の募集人員の中に含まれます。

Ⅱ 推薦入試共通事項

1 推薦入試に係る留意事項について

- (1) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課すもの及び課さないものを含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部ですので注意してください。
- (2) 工学部昼間コースのＡＯ入試Ⅲと推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）を同時に受験することはできません。
- (3) 工学部昼間コースのＡＯ入試Ⅲの第１次選抜に合格した者は、本学が実施する推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）に出願することはできません。
- (4) 理学部理学科の推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）の数学分野受験に出願し、不合格となった者は、理学部理学科の推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）の数学分野受験にのみ出願することができます。
- (5) 工学部昼間コースの高分子・有機材料工学科、情報・エレクトロニクス学科又は機械システム工学科の推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）に出願し、不合格となった者は、工学部昼間コースの推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）の同一学科、コースにのみ出願することができます。
- (6) 推薦入試で不合格となった場合又は不合格となった場合に備えて、国公立大学の一般入試に出願することができます。この場合、大学入試センター試験を受験している必要があります。（一般入試の出願期間：平成 29 年 1 月 23 日（月）～平成 29 年 2 月 1 日（水））
- (7) 推薦入試志願者は、志願する学科等で課す大学入試センター試験（推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）の場合）、実技、小論文及び面接をすべて受験しなければ失格となります。
- (8) 推薦入試合格者が入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、本学の推薦入試合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。
- (9) 推薦入試合格者は、特別の事情がある場合を除き入学を辞退することはできません。
ただし、特別の事情があり、やむを得ず入学を辞退する場合は、当該志願者の推薦を行った出身学校長からの「推薦入学辞退願」（様式は任意。合格学部学科等名、受験番号及び入学を辞退する特別な理由を記載した上で、本人及び推薦学校長が連署・押印したもの。）を本学に提出し、許可を得てください。
この入学辞退を許可された場合を除いては、他の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりませんので、十分注意してください。
- (10) 推薦入試志願者は、特別の事情がある場合を除き、入学試験を欠席又は合格を辞退することはできません。
ただし、特別の事情があり、入学試験を欠席又は合格を辞退する場合は、上記(9)の「推薦入学辞退願」に準じたものを本学に提出してください。
- (11) 入学手続完了者が高等学校等を卒業又は修了できない場合は、入学を取り消します。
- (12) 国公立大学の一般入試における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、山形大学受験番号及び大学入試センター試験の受験番号に限って、推薦入試の合格及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。
また、本学は、入学試験に関する個人情報を次の目的のためにのみ利用し、当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはありません。
 - ① 入学者選抜試験実施のため
 - ② 入学手続業務のため
 - ③ 入試統計調査のため

- ④ 就学上必要な本学での業務のため
- ⑤ その他大学として必要な業務のため
- (13) 工学部フレックスコースは主に夜間に授業を行う課程であるため、外国人留学生は出願できません。
- (14) その他推薦入試に関し、追加すべき事項が生じた場合には、出身学校長を通じて連絡します。

2 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で、病気・負傷や障害等のために受験上及び修学上の配慮を希望する者は、入学願書の出願受付開始前にエンロールメント・マネジメント部入試課(TEL(023)628-4141)に相談してください。

なお、相談内容によっては、本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早めに相談してください。

事前相談の詳細については、山形大学ホームページの「入試案内」でお知らせしております。

区 分	対 象 と な る 者
① 視 覚 障 害	・点字による教育を受けている者 ・良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者 ・両眼による視野について視能率による損失率が90%以上の者 ・上記以外の視覚障害者
② 聴 覚 障 害	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外の聴覚障害者
③ 肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外の肢体不自由者
④ 病 弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤ 発 達 障 害	・自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とする者
⑥ そ の 他	・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

3 入学試験情報開示について

(1) 合格最高点・最低点及び合格者の平均点について

合格最高点・最低点及び合格者の平均点は、山形大学ホームページ及び報道機関への資料提供により公表します。

なお、合格者が10人以下の学科等については、公表しません。

(2) 入学試験個人成績及び調査書の開示・請求方法について

- ① 開示期間 平成29年5月1日～平成29年6月30日（土・日曜日、祝日を除きます。）
受付時間は、9時から16時30分までとします。
- ② 請 求 者 受験者本人に限ります。（代理人による請求は認めません。）
- ③ 請求方法 受験した学部の入試担当（4ページ参照）へ直接又は郵送により請求してください。請求する際は、「平成29年度山形大学入学選抜試験成績等開示申込書」（※）及び本学受験票を提示してください。なお、郵送に

よる場合は、受験した学部の入試担当（下記参照）あての封筒の表に「〇学部入試成績開示申込み」と朱書し、「平成29年度山形大学入学者選抜試験成績等開示申込書」、本学受験票及び返信用封筒（長形3号（23.5cm×12cm）に402円分の切手（簡易書留）をはって、請求者の郵便番号・住所・氏名を記入したもの）を同封してください。

※ 「平成29年度山形大学入学者選抜試験成績等開示申込書」については、山形大学ホームページの「入試案内」から直接ダウンロードしてください。ダウンロードについては、平成29年4月中旬以降可能です。

- ④ 開示方法 受付窓口において又は郵送により開示します。
請求のあった日の翌日以降に開示又は郵送します。
ただし、請求の内容によっては、時間を要する場合があります。

4 山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）

本学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）は、「平成29年度山形大学入学者選抜要項」（平成28年6月公表済み。）及び山形大学ホームページ（<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp>）「入試案内」において公表しております。

5 推薦入試に関するお問い合わせについて

推薦入試に関する事務は、各学部入試担当で取り扱います。不明な点があれば、電話で問い合わせるか、郵送にてお問い合わせください。なお、郵送による場合は必要事項（送付先郵便番号・住所・氏名）を記載した返信用封筒（所要切手添付）を同封してください。（お問い合わせ先は、「6 出願書類の提出先及び入学者選抜に関するお問い合わせ先について」を参照してください。）

6 出願書類の提出先及び入学者選抜に関するお問い合わせ先について

学 部	入 試 担 当	住 所	電 話
人 文 社 会 科 学 部	人文学部入試担当	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12	(023) 628-4207
地 域 教 育 文 化 学 部	地域教育文化学部 入 試 担 当		(023) 628-4310
理 学 部	理学部入試担当		(023) 628-4710
医 学 部	医学部入試担当	〒990-9585 山形市飯田西二丁目2-2	(023) 628-5049
工 学 部	工学部入試担当	〒992-8510 米沢市城南四丁目3-16	(0238) 26-3013
農 学 部	農学部学務担当	〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23	(0235) 28-2808

注) お問い合わせは、8:30～17:00（土・日曜日、祝日及び12月29日～1月3日を除く。）の時間帯でお願いします。

Ⅲ 推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）

1 出願受付期間等

(1) 出願受付期間

平成28年11月1日(火)から11月4日(金)まで（祝日を除きます。）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

郵送の場合も11月4日(金)まで必着とします。

(2) 出願書類の提出先

志願学部の入試担当（4ページ参照）に提出してください。

（注）1 出願書類については、「2 出願書類及び出願手続」を参照してください。

2 出願書類受理後は、出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めません。

3 出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。

2 出願書類及び出願手続

出願書類は、学校長の責任のもとに、志願者1人ごとに本要項添付の封筒に入れ、郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

なお、複数の志願者を推薦する学校において、提出先が同じ場合は、志願者ごとの封筒を、「推薦入試入学願書在中」と朱書した別の封筒にまとめて入れ、書留速達扱いとして提出することができます。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書 写真票 受験票	○ 本要項に添付の所定の用紙【推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）用】を用い、所定欄に必要事項をもれなく記入してください。 ○ 「志願者現住所」欄には、願書提出の日から平成29年3月31日（金）まで確実に郵便物を受け取ることでできる住所を記入してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を記入してください。 ○ 「写真票」の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真（4cm×3cm）をはってください。
調査書	○ 出身学校長が作成し厳封してください。 1 高等学校又は中等教育学校については、所定の調査書により作成してください。 2 上記1以外の学校については、所定の調査書に準じて作成してください。 なお、理学部理学科の物理学分野受験の出願資格・要件(2)及び医学部看護学科の出願資格・要件(3)に係る科目について、履修見込みの場合は、備考欄にその旨記載してください。 ※ 医学部看護学科では、高等学校又は中等教育学校における学習成績概評がA段階に属し、人物・学力ともに特に優秀であり学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書に㊤と標示することを希望します。なお、この場合には、備考欄にその理由を明示してください。 また、㊤標示を合否判定の資料としても使用します。
推薦書	○ 本要項に添付の所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封してください。 ○ 「推薦書記入上の注意」をよく読んで記入してください。
志望理由書	○ 本要項に添付の所定の用紙を用いてください。 ○ 「志望理由書記入上の注意」をよく読んで記入してください。 ※ 工学部昼間コース及びフレックスコースの志願者は、提出する必要はありません。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
山形大学入学試験検定料納付証明書	○ 検定料 17,000円（工学部フレックスコースは、10,000円） 1 払込期間 平成28年10月25日（火）から平成28年11月4日（金）まで 2 払込方法 (1) 本要項に添付の所定の「払込書【推薦入試用】」を用いて、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局から払い込んでください。ただし、工学部フレックスコース志願者は、「払込書【推薦入試用（工学部フレックスコース）】」を用いてください。 なお、A T M（現金自動預払機）は使用できません。必ず窓口で払い込んでください。 (2) 各票の※印欄に、志願者（本人）の郵便番号・住所・氏名・電話番号をボールペンで正確に記入してください。 (3) 「払込取扱票」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」に志願する学部・学科・コース名を記入してください。 (4) 「振替払込請求書兼受領証」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」をゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取る際には、必ず受付銀行又は局の「日附印」があることを確認してください。 <u>3 ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取った「山形大学入学試験検定料納付証明書」を提出してください。</u> 4 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (1) 検定料を払い込んだが出願しなかった場合（出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。） (2) 誤って検定料を二重に払い込んだ場合 ※ 返還についてのお問い合わせは、各学部入試担当（4ページ参照）をお願いします。なお、申出期限は平成29年3月31日（金）までとします。 5 本学では、東日本大震災又は平成28年熊本地震で被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、平成29年度学部入学者選抜試験に係る検定料について、免除の特別措置を行います。詳細は、表紙裏面の目次の次頁下でご確認願います。
ラベル票	○ 本要項に添付の「ラベル票」に郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、提出してください。
返信用封筒	○ 本要項に添付の所定の封筒（受験票送付用）に郵便番号・住所・氏名を記入し、362円分の切手（速達）をはって提出してください。
読書感想文	○ 人文社会科学部人文社会科学科の総合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコースの志願者は、本要項に添付の所定の用紙を用いてください。
演奏曲目届出書	○ 地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース（実技系（音楽））の志願者は、本要項に添付の所定の用紙を用いてください。
楽譜	○ 地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース（実技系（音楽））の志願者で、声楽専攻の受験者は、演奏する曲の伴奏用楽譜1部を提出してください。
スポーツ活動に関する調査書	○ 地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース（実技系（スポーツ））の志願者は、本要項に添付の所定の用紙（主な競技成績等を記入したもの）により、出身学校長が作成したものを提出してください。 ○ 競技成績等については、証明できるもの（写し可）を添付してください。

（注）1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、出願書類を受理しないことがあります。

2 記入に当たってはボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。訂正する場合は、二重線で消し訂正印を押してください。

3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍（日本国籍を有しない者は住民票）のとおりとしてください。

3 学部別募集要項細目

人 文 社 会 科 学 部

1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名		募 集 人 員
人 文 社 会 科 学 科	人 間 文 化 コ ー ス	15人
	グ ロー バ ル ・ ス タ デ ィ ー ズ コ ー ス	20人
	総 合 法 律 / 地 域 公 共 政 策 / 経 済 ・ マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス	35人

2 出願資格・要件

コ ー ス 名	出 願 資 格 ・ 要 件
人 間 文 化 コ ー ス	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第3学年を平成29年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。 (1) 人間文化コースで扱う学問分野のいずれかに強い関心を持っている者 (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
グ ロー バ ル ・ ス タ デ ィ ー ズ コ ー ス	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第3学年を平成29年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。 (1) グローバル・スタディーズコースで学ぶ明確な目的を持っている者 (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者 (3) 在学中に優れた活動実績がある者 (4) 国際社会、異文化理解、外国語について深い関心がある者 (5) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
総 合 法 律 / 地 域 公 共 政 策 / 経 済 ・ マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）又は高等専門学校の第3学年を平成29年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。 (1) 総合法律/地域公共政策/経済・マネジメントコースで学ぶ明確な目的を持っている者 (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上である者 (3) 在学中に優れた活動実績がある者 (4) 社会について深い関心がある者 (5) 個性的で活力がある者 (6) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

3 選抜方法等

人間文化 コ ー ス	選 抜 期 日	平成28年11月16日(水)・17日(木) (本学部が指定するいずれかの日)								
	時 間	9：00～17：00(予定)								
	科 目 等	面 接								
	選 抜 方 法	(1) 推薦書, 調査書, 志望理由書の審査に加え, 面接を実施します。面接時間は1人30分程度です。 (2) 面接では, 人間文化コースで扱う学問分野に関連して自分でテーマを選び, そのテーマについて, 考えたり調べたりした具体的な成果を, A4用紙1枚にまとめた説明資料(試験当日持参, 面接時に提出)にもとづいて, 5分程度話してもらい, 主としてそれをもとにした質疑応答を行います。質疑応答では, 論理的思考力, 勉学意欲と問題意識, 発表力, 本コースでの修学に必要な基礎的能力等をみます。配点は, 次のとおりとします。 <table><tr><td>書類審査(推薦書, 調査書, 志望理由書)</td><td>面 接</td><td>合 計</td></tr><tr><td>30</td><td>70</td><td>100</td></tr></table>			書類審査(推薦書, 調査書, 志望理由書)	面 接	合 計	30	70	100
	書類審査(推薦書, 調査書, 志望理由書)	面 接	合 計							
	30	70	100							
採点・評価基準	人間文化コースの学問分野に対する関心・問題意識, 勉学への意欲及び本コースでの修学に必要な基礎的能力等を総合的に評価します。									
合否判定基準	推薦書, 調査書, 志望理由書及び面接の結果を総合して判定します。									
グローバル・ スタディーズ コ ー ス	選 抜 期 日	平成28年11月16日(水)・17日(木) (本学部が指定するいずれかの日)								
	時 間	9：00～17：00(予定)								
	科 目 等	面 接								
	選 抜 方 法	推薦書, 調査書, 志望理由書及び面接により選抜します。面接では, 志望理由書に基づき質疑応答を行います。配点は, 次のとおりとします。 <table><tr><td>書類審査(推薦書, 調査書, 志望理由書)</td><td>面 接</td><td>合 計</td></tr><tr><td>30</td><td>70</td><td>100</td></tr></table> 面接時間は1人30分程度です。			書類審査(推薦書, 調査書, 志望理由書)	面 接	合 計	30	70	100
	書類審査(推薦書, 調査書, 志望理由書)	面 接	合 計							
	30	70	100							
採点・評価基準	本コースで学ぶ意欲, 学校在学中の成績及び活動実績, 国際社会, 異文化理解, 外国語への関心等を総合的に評価します。									
合否判定基準	推薦書, 調査書, 志望理由書及び面接の結果を総合して判定します。									

総合法律/ 地域公共政策/ 経済・マネジメント コース	選 抜 期 日	平成28年11月16日(水)・17日(木) (本学部が指定するいずれかの日)		
	時 間	9 : 00～17 : 00 (予定)		
	科 目 等	面 接		
	選 抜 方 法	推薦書, 調査書, 志望理由書, 読書感想文及び面接により 選抜します。 配点は, 次のとおりとします。		
		書類審査 (推薦書, 調査書, 志望理由書, 読書感想文)	面接	合計
		100		100
	面接時間は1人30分程度です。			
採点・評価基準	本コースで学ぶ意欲・学校在学中の成績及び活動実績・社会的関心等をみます。			
合否判定基準	推薦書, 調査書, 志望理由書, 読書感想文及び面接の結果 を総合して判定します。			

- ◎ 試験は人文社会科学部試験場(山形市小白川町一丁目4-12)において実施します。
面接日・その他詳細については, 受験票送付時に本人あてに通知します。

地 域 教 育 文 化 学 部

1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名			募 集 人 員
地 域 教 育 文 化 学 科	児 童 教 育 コ ー ス		12人
	文化創生コース	文 科 系 あ る い は 理 科 系	6 人
		実 技 系 （ 美 術 ）	5 人
		実 技 系 （ 音 楽 ）	6 人
		実 技 系 （ ス ポ ー ツ ）	6 人

2 出願資格・要件

コース名	出 願 資 格 ・ 要 件
児童教育 コ ー ス	高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、(2)に記載のとおりとします。 (1) 教職に就くことを強く希望する者 (2) 次の①又は②のいずれかに該当し、特に児童教育コースでの勉学を強く希望する者 ① 調査書の全体の評定平均値が4.0以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀な者。学校長が推薦できる人数は、1校につき1人とします。 ② 調査書の全体の評定平均値が3.5以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、数学及び理科について、数学Ⅲ、物理、化学、生物及び地学（理数科にあっては理数数学Ⅱ、理数物理、理数化学、理数生物及び理数地学）の科目の中から2科目以上を履修した者又は履修見込みの者。学校長が推薦できる人数は、1校につき2名以内とします。 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
文化創生 コ ー ス （文科系 あるいは 理科系）	高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき1人とします。 (1) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、特に文化創生コースでの勉学を強く希望する者 (2) 「心理及び心理支援」又は「食」に関わる強い興味と関心を持つ者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
文化創生 コ ー ス （実技系 （美術））	高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき1人とします。 (1) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、特に文化創生コースでの勉学を強く希望する者 (2) 美術に優れた能力を有する者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

コース名	出 願 資 格 ・ 要 件
文化創生 コ ー ス (実技系 (音楽))	高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者(注)で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。 (1) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、特に文化創生コースでの勉学を強く希望する者 (2) 次の分野のいずれかにおいて、特に優れた能力、関心を有する者 声楽、ピアノ、アンサンブル(管弦打楽器)、作曲、音楽教育 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
文化創生 コ ー ス (実技系 (スポーツ))	高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者(注)で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき1人とします。 (1) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、特に文化創生コースでの勉学を強く希望する者 (2) スポーツに優れた能力を有する者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

3 選抜方法等

(1) 選抜日時・科目等

コース名		選抜日時	科目等	成績の評価
児 童 教 育 コ ー ス		平成28年11月17日(木) 9:00～17:00(予定)	面 接 (口頭試問を含みます。)	300点
文化創生 コ ー ス	文科系あるいは理科系	平成28年11月16日(水) 9:00～17:00(予定)	実技検査 面 接 (口頭試問を含みます。)	
	実 技 系 (美 術)			
	実 技 系 (音 楽)			
	実技系 (スポーツ)			

◎ 試験は地域教育文化学部試験場(山形市小白川町一丁目4-12)において実施します。

(2) 選抜方法及び成績の評価

児童教育コース

面 接 (口頭試問を含みます。)	方 法	複数の面接担当者による集団面接(5人程度を1組とする)及び個別面接。
	時 間	集団面接30分程度、個別面接10分程度
	内 容	1 集団面接: 課題についての集団討議 2 個別面接: 教員を志望する理由、課題についての自身の考えや意見等の質疑応答
採点・評価基準	面接(口頭試問を含みます。)では、コースに関わる基礎的能力(教科に関わる基礎的学力、論理的思考力、読解力、表現力及びコミュニケーション能力など)と学習への意欲、関心及び適性を総合的に評価します。	
合 否 判 定 基 準	面接(口頭試問を含みます。)の得点と志望理由書・推薦書・調査書を総合的に評価して合否を判定します。	

文化創生コース（文科系あるいは理科系）

面 接 (口頭試問を含みます。)	方 法	複数の面接担当者による個別面接
	時 間	15～20分程度
	内 容	以下の項目で総合的に評価できる複数の質問及び口頭試問を行います。 1 本コース志望の動機と勉学意欲 2 基礎となる学力 3 科学的思考力と論理的表現 4 「心理及び心理支援」又は「食」に関する幅広い興味・関心
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）では、コースに関わる基礎的能力（観察力・思考力・表現力、基礎学力など）と適性、学習意欲及び高校生活における社会的活動等の経験などを総合的に評価します。	
合 否 判 定 基 準	面接（口頭試問を含みます。）の得点と志望理由書・推薦書・調査書を総合的に評価して合否を判定します。	

文化創生コース（実技系（美術））

面 接 (口頭試問を含みます。)	方 法	複数の面接担当者による個別面接
	時 間	15～20分程度
	内 容	造形芸術に対する関心や基礎的な知識に関する質問及び自身の造形実践や経験の内容（ポートフォリオ含む）、入学後の取り組み等を質問します。
実 技 検 査	基礎造形能力について検査します。 (注) 1 次のものを当日各自持参してください。 ポスターカラー（12色）又はアクリル絵の具（12色）、 筆、鉛筆、パレット又は絵の具皿、筆洗器（水入れ）、 消しゴム、直定規及び三角定規、コンパス、ハサミ、 カッターナイフ 2 受験者は、参考資料として過去の作品写真等をまとめたファイル（A4判ポートフォリオ）を当日持参してください。なお、映像表現等の場合は、5分以内にまとめたデジタルデータ等を持参してもかまいません。ただし、データを閲覧するために必要な機材（ノートPC等）は各自で準備し、持参してください。入賞入選作品については、証明するもの（写し等可）を添付してください。	
採点・評価基準	実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）において、コースに関わる基礎的能力（発想力・構成力・造形的表現力）と適性、学習意欲及び高校生活における社会的活動等の経験などを総合的に評価します。	
合 否 判 定 基 準	面接（口頭試問を含みます。）の得点と実技検査の得点の合計点及び志望理由書・推薦書・調査書等を総合的に評価して合否を判定します。	

文化創生コース（実技系（音楽））

面接 (口頭試問を含みます。)	方法	複数の面接担当者による個別面接
	時間	10分程度
	内容	簡単な楽譜を1分程度黙読の後、視奏又は視唱を行い、楽譜についての楽典等に関する質問を行います。
実技検査	各専攻の実技検査は、次のとおり実施します。 1 声楽専攻 ア) イタリア古典歌曲より任意の1曲を選択し、演奏してください。 イ) 上記の作品を除く任意の1曲又は数曲を選択し、演奏してください。 上記のア), イ) を合わせ10分程度のプログラムを構成してください。 (注) ①上記の伴奏用楽譜各1部を出願時に提出してください。 ②上記の曲は原語により、暗譜で繰り返しを省き演奏してください。 2 ピアノ専攻 ア) J. S. バッハ：平均律クラヴィーア曲集 第1巻, 第2巻より任意のフーガ1曲を選択し、演奏してください。 イ) 上記の作品を除く任意の1曲又は数曲を選択し、演奏してください。 上記のア), イ) を合わせ10分程度のプログラムを構成してください。 (注) 暗譜で繰り返しを省き演奏してください。 3 アンサンブル専攻 ア) アンサンブル（管弦打楽器）は、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス及び打楽器から選択してください。 演奏時間は10分程度。任意の1曲、又は数曲を演奏してください。 イ) アンサンブル（管弦打楽器）の試験は無伴奏で行います。 受験楽器は、当日、各自持参してください。 ＊コントラバス及びマリimbaは、大学備え付けの楽器を使用してもかまいません。使用する場合は、入学願書の楽器名を記入する欄に「貸し出し希望」と朱書きしてください。 (注) 暗譜で繰り返しを省き演奏してください。 4 作曲専攻 ア) 機能と声に基づく非和声音、転調を含む和声のソプラノ・バス課題を課します（所要時間120分）。 イ) 5分程度の任意のピアノ曲1曲、又は数曲を演奏してください。 (注) 暗譜で繰り返しを省き演奏してください。	
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）では、コースに関わる基礎的能力（楽典・ソルフェージュなど）と学習意欲、適性を総合的に評価し、実技検査では、専攻（声楽、ピアノ、アンサンブル、作曲の各専攻）に関わる基礎的能力を総合的に評価します。	
合否判定基準	面接（口頭試問を含みます。）の得点と実技検査の得点の合計点及び志望理由書・推薦書・調査書等を総合的に評価して合否を判定します。	

文化創生コース（実技系（スポーツ））

面 接 (口頭試問を含みます。)	方 法	複数の面接担当者による個別面接
	時 間	15～20分程度
	内 容	スポーツ，運動，身体等の基礎的な知識に関する質問及び自身の運動実践や経験の内容，入学後の取り組み等を質問します。
実 技 検 査	基礎的運動能力（内容は当日示します。）について検査します。なお，運動着と屋内シューズを持参してください。	
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）では，「スポーツ活動に関する調査書」を中心にした面接をとおして，コースに関わる基礎的能力及び適性を評価し，実技検査では，当日指示された数種目の基礎的な運動能力を評価します。	
合 否 判 定 基 準	面接（口頭試問を含みます。）の得点と実技検査の得点の合計点及び志望理由書・推薦書・調査書等を総合的に評価して合否を判定します。	

理 学 部

1 募集人員

学 科 ・ 選 抜 区 分 名		募 集 人 員
理 学 科	数 学 分 野 受 験	7 人
	物 理 学 分 野 受 験	5 人

2 出願資格・要件

選 抜 区 分 名	出 願 資 格 ・ 要 件
数 学 分 野 受 験	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）又は学校教育法施行規則第93条第3項及び第103条第1項並びに単位制高等学校教育規程第3条の規定に基づき、平成28年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 （1）数理情報科学の領域において、高い科学的関心と意欲を持つ者 （2）合格した場合は、入学することを確約できる者 （注） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
物 理 学 分 野 受 験	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）又は学校教育法施行規則第93条第3項及び第103条第1項並びに単位制高等学校教育規程第3条の規定に基づき、平成28年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 （1）特に物理への強い関心と勉学意欲をもつ者 （2）次の教科を履修した者又は履修見込みの者 ① 数学については、数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A及び数学B（理数科にあつては、理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ及び理数数学特論） ② 理科については、物理基礎及び物理（理数科にあつては、理数物理） （3）合格した場合は、入学することを確約できる者 （注） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

3 選抜方法等

数学分野受験

選 抜 期 日	平成28年11月12日(土)		
時 間	9 : 00～13 : 00 (予定)		
科 目 等	面接 (口頭試問を含みます。)		
選 抜 方 法	面接 (口頭試問を含みます。), 調査書, 推薦書及び志望理由書により選抜します。 配点は次のとおりとします。		
	面 接	書類審査 (調査書, 推薦書, 志望理由書)	合計点
	300		300
	面接の内容は, 次の2項目です。 1 理学部理学科の志望動機と勉強意欲 2 数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学Bの範囲の問題 ただし, 数学Bの出題範囲は, 「数列」, 「ベクトル」とします。解答時には, ホワイトボードへ記述し, 説明していただきます。		
採点・評価基準	面接 (口頭試問を含みます。) では, 数理情報科学に対する関心の深さ, 学習意欲, 数学の基礎学力, 課外活動の実績等を総合的に評価します。		
合 否 判 定 基 準	面接 (口頭試問を含みます。) の得点と調査書, 推薦書, 志望理由書を総合的に評価して合否を判定します。		

◎ 試験は理学部試験場 (山形市小白川町一丁目4-12) において実施します。

物理学分野受験

選 抜 期 日	平成28年11月12日(土)		
時 間	9 : 00～13 : 00 (予定)		
科 目 等	面接 (口頭試問を含みます。)		
選 抜 方 法	面接 (口頭試問を含みます。) 及び調査書により選抜します。(志望理由書, 推薦書は面接の際の参考資料となります。) 配点は次のとおりとします。		
	面 接	調査書評価点	合 計 点
	60	40	100
採点・評価基準	面接では基礎学力, 物理的思考力, 自然科学に関する経験や関心の強さ, 自分の考えを表現する力を基準に評価します。		
合 否 判 定 基 準	面接 (口頭試問を含みます。) 及び調査書の合計点により合否を判定します。		

◎ 試験は理学部試験場 (山形市小白川町一丁目4-12) において実施します。

医 学 部 (看 護 学 科)

1 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
看 護 学 科	20人

2 出願資格・要件

高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 看護学の勉学を強く希望し、将来、看護の実践・指導に携わることを決意している者 (2) 人格・学力共に優秀な者 (3) 次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 ① 数学については、数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A及び数学Bのうち2科目以上（理数科にあつては、理数数学Ⅰ及び理数数学Ⅱ） ② 理科については、物理基礎，化学基礎及び生物基礎のうち2科目以上（理数科にあつては、理数物理，理数化学及び理数生物のうち2科目以上） (4) 合格した場合は、看護学科に入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

3 選抜方法等

選 抜 期 日	平成28年11月16日(水)		
時 間	9 : 30～12 : 00		13 : 00～17 : 00 (予定)
科 目 等	小 論 文		面 接
採点・評価基準	調査書，推薦書，志望理由書並びに小論文及び面接の結果により総合的に評価します。		
	・ 小論文では，看護学に対する適性をみるとともに，記述力・洞察力や表現力等の基礎能力を問います。なお，解答には英語の理解力を必要とするものを含みます。		
	・ 面接では，看護職者としての適性を評価します。		
	配点は次のとおりとします。		
	小 論 文	面 接	総 合 点
	500	100	600
合 否 判 定 基 準	面接（調査書，推薦書，志望理由書の評価を含みます。）の結果と小論文の成績に基づき総合的に判定します。なお，小論文の成績若しくは面接の結果によっては，総合点にかかわらず不合格とすることがあります。		
	また，総合点が同点の場合は，面接の得点により順位を付けます。		

- ◎ 試験は医学部試験場（山形市飯田西二丁目2-2）において実施します。
 なお，詳細については，受験票送付時に本人あてに通知します。

工 学 部 昼 間 コ ー ス

1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名		募 集 人 員
高 分 子 ・ 有 機 材 料 工 学 科		30人（出願要件①27人，②3人）
化 学 ・ バ イ オ 工 学 科	応用化学・化学工学コース	9人（出願要件①7人，②2人）
	バイオ化学工学コース	9人（出願要件①7人，②2人）
情 報 ・ エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス 学 科	情 報 ・ 知 能 コ ー ス	10人（出願要件①8人，②2人）
	電 気 ・ 電 子 通 信 コ ー ス	10人（出願要件①7人，②3人）
機 械 シ ス テ ム 工 学 科		24人（出願要件①19人，②5人）
建 築 ・ デ ザ イ ン 学 科		5人（出願要件①5人）

2 出願資格・要件

出 願 要 件 ①	高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者（（注）のア及びイを含みます。）で，次の要件をすべて満たし，学校長が適性を考慮して，責任をもって推薦できる者 （1）調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者で，人物・学力ともに優秀な者 （2）合格した場合は，入学することを確約できる者 （注）ア 高等専門学校の第3学年を修了した者又は修了見込みの者 イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は修了見込みの者
出 願 要 件 ②	高等学校若しくは中等教育学校の工業に関する学科若しくは総合学科（工業に関する教科・科目を20単位以上修得のこと。）を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者で，次の要件をすべて満たし，学校長が適性を考慮して，責任をもって推薦できる者 （1）調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者で，人物・学力ともに優秀な者 （2）合格した場合は，入学することを確約できる者

3 選抜方法等

選 抜 期 日	平成28年11月12日（土）・13日（日）（本学部が指定するいずれかの日）													
時 間	9：00～13：00（予定）													
科 目 等	面接（口頭試問を含みます。） 各学科の口頭試問における基礎学力の出題範囲は次のとおりとします。													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学科名</th><th>出題範囲</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高 分 子 ・ 有 機 材 料 工 学 科</td><td>○ 物理、化学の2科目の中から自分の希望する1科目を選択 物理：物理基礎の全領域、物理の全領域 化学：化学基礎の全領域、化学のうち「物質の状態と平衡」、 「物質の変化と平衡」、 「無機物質の性質と利用」、 「有機化合物の性質と利用」</td></tr> <tr> <td rowspan="2">化 学 ・ バ イ オ 工 学 科</td><td> 【応用化学・化学工学コース】 ○ 数学、物理、化学の3科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」、 「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」、 「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域、物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域、化学のうち「物質の状態と平衡」、 「物質の変化と平衡」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ） </td></tr> <tr> <td> 【バイオ化学工学コース】 ○ 数学、物理、化学、生物の4科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」、 「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」、 「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域、物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域、化学のうち「物質の状態と平衡」、 「物質の変化と平衡」 生物：生物基礎の全領域、生物のうち「生命現象と物質」、 「生殖と発生」、 「生物の環境応答」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ） </td></tr> <tr> <td rowspan="2">情 報 ・ エ レ ク ト ロ ニ ク ス 学 科</td><td> 【情報・知能コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」、 「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」、 「図形と方程式」、 「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 数学Bのうち「数列」、 「ベクトル」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ） </td></tr> <tr> <td> 【電気・電子通信コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」、 「二次関数」 数学Ⅱのうち「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ） </td></tr> <tr> <td>機 械 シ ス テ ム 工 学 科</td><td> ○ 数学：数学Ⅰの全領域 数学Ⅱのうち「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 ○ 物理：物理基礎の全領域、物理のうち「様々な運動」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ） </td></tr> <tr> <td>建 築 ・ デ ザ イン 学 科</td><td> 建築、都市、デザインを題材とした試問を通して、以下の観点から評価します。 ○ 社会に対する幅広い興味・関心 ○ 科学的思考力と論理的表現力 ○ 発想の豊かさと思考の柔軟性 </td></tr> </tbody> </table>	学科名	出題範囲	高 分 子 ・ 有 機 材 料 工 学 科	○ 物理、化学の2科目の中から自分の希望する1科目を選択 物理：物理基礎の全領域、物理の全領域 化学：化学基礎の全領域、化学のうち「物質の状態と平衡」、 「物質の変化と平衡」、 「無機物質の性質と利用」、 「有機化合物の性質と利用」	化 学 ・ バ イ オ 工 学 科	【応用化学・化学工学コース】 ○ 数学、物理、化学の3科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」、 「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」、 「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域、物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域、化学のうち「物質の状態と平衡」、 「物質の変化と平衡」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ）	【バイオ化学工学コース】 ○ 数学、物理、化学、生物の4科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」、 「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」、 「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域、物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域、化学のうち「物質の状態と平衡」、 「物質の変化と平衡」 生物：生物基礎の全領域、生物のうち「生命現象と物質」、 「生殖と発生」、 「生物の環境応答」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ）	情 報 ・ エ レ ク ト ロ ニ ク ス 学 科	【情報・知能コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」、 「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」、 「図形と方程式」、 「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 数学Bのうち「数列」、 「ベクトル」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ）	【電気・電子通信コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」、 「二次関数」 数学Ⅱのうち「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ）	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	○ 数学：数学Ⅰの全領域 数学Ⅱのうち「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 ○ 物理：物理基礎の全領域、物理のうち「様々な運動」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ）	建 築 ・ デ ザ イン 学 科
学科名	出題範囲													
高 分 子 ・ 有 機 材 料 工 学 科	○ 物理、化学の2科目の中から自分の希望する1科目を選択 物理：物理基礎の全領域、物理の全領域 化学：化学基礎の全領域、化学のうち「物質の状態と平衡」、 「物質の変化と平衡」、 「無機物質の性質と利用」、 「有機化合物の性質と利用」													
化 学 ・ バ イ オ 工 学 科	【応用化学・化学工学コース】 ○ 数学、物理、化学の3科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」、 「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」、 「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域、物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域、化学のうち「物質の状態と平衡」、 「物質の変化と平衡」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ）													
	【バイオ化学工学コース】 ○ 数学、物理、化学、生物の4科目の中から自分の希望する1科目を選択 数学：数学Ⅰのうち「図形と計量」、 「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」、 「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 物理：物理基礎の全領域、物理のうち「様々な運動」 化学：化学基礎の全領域、化学のうち「物質の状態と平衡」、 「物質の変化と平衡」 生物：生物基礎の全領域、生物のうち「生命現象と物質」、 「生殖と発生」、 「生物の環境応答」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ）													
情 報 ・ エ レ ク ト ロ ニ ク ス 学 科	【情報・知能コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」、 「二次関数」 数学Aのうち「図形の性質」 数学Ⅱのうち「いろいろな式」、 「図形と方程式」、 「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 数学Bのうち「数列」、 「ベクトル」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ）													
	【電気・電子通信コース】 ○ 数学：数学Ⅰのうち「数と式」、 「二次関数」 数学Ⅱのうち「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ）													
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	○ 数学：数学Ⅰの全領域 数学Ⅱのうち「指数関数・対数関数」、 「三角関数」、 「微分・積分の考え」 ○ 物理：物理基礎の全領域、物理のうち「様々な運動」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ）													
建 築 ・ デ ザ イン 学 科	建築、都市、デザインを題材とした試問を通して、以下の観点から評価します。 ○ 社会に対する幅広い興味・関心 ○ 科学的思考力と論理的表現力 ○ 発想の豊かさと思考の柔軟性													

選 抜 方 法	調査書、推薦書及び工学部が実施する面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に選抜します。 なお、面接（口頭試問を含みます。）では調査書及び推薦書を参考にします。配点は、次のとおりとします。		
	調査書評価点	面接（口頭試問を含みます。）	合計点
	30	70	100
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）は、次の項目を基準に評価します。 ○ 志望動機，学習意欲，基礎学力，表現力		
合 否 判 定 基 準	(1) 調査書に基づく調査書評価点と面接（口頭試問を含みます。）の得点の合計により，合否を判定します。（総合点方式） (2) 合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。		

◎ 試験は工学部試験場（米沢市城南四丁目3-16）において実施します。

面接時間は1人20分程度とします。

試験当日の注意事項等詳細については，受験票送付時に本人あてに通知します。

4 入学前教育について

本学部では，推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）合格者に対し，入学後の学習が順調に進むように，学習教材を指定してe-ラーニングによる入学前教育を実施しています。

特に，数学，理科及び英語については，工学を学んでいく上で基礎となる重要な科目であり，ここでのつまずきは，入学してから学ぶことになる専門的な科目の習得に支障を生じさせる可能性がありますので，合格者全員が受講するようにしてください。

なお，入学前教育に係る費用（12,000円程度）については，自己負担とさせていただきます。

詳細は，合格通知の際にお知らせします。

工 学 部 フ レ ッ ク ス コ ー ス

1 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
シ ス テ ム 創 成 工 学 科	5 人

2 出願資格・要件

高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者（（注）のア及びイを含みます。）で、次の要件をすべて満たし、学校長が適性を考慮して、責任をもって推薦できる者 (1) 調査書の全体の評定平均値が3.3以上の者で、人物・学力ともに優秀な者 (2) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注) ア 高等専門学校第3学年を修了した者又は修了見込みの者 イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は修了見込みの者

3 選抜方法等

選 抜 期 日	平成28年11月12日（土）・13日（日）（本学部が指定するいずれかの日）		
時 間	9：00～13：00（予定）		
科 目 等	面接（口頭試問を含みます。） 口頭試問における基礎学力の出題範囲は次のとおりとします。		
	出題範囲		
	○ 数学：数学Ⅰの全領域 数学Ⅱのうち「指数関数・対数関数」，「三角関数」，「微分・積分の考え」 ○ 物理：物理基礎の全領域，物理のうち「様々な運動」 ○ 英語：英文の読解力（コミュニケーション英語基礎，コミュニケーション英語Ⅰ， コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ）		
選 抜 方 法	調査書，推薦書及び工学部が実施する複数の面接担当者による集団面接及び個別面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に選抜します。 なお，面接（口頭試問を含みます。）では調査書及び推薦書を参考にします。 配点は，次のとおりとします。		
	調査書評価点	面接（口頭試問を含みます。）	合計点
	30	70	100
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）は，次の項目を基準に評価します。 ○ 志望動機，学習意欲，基礎学力，表現力		
合 否 判 定 基 準	(1) 調査書に基づく調査書評価点と面接（口頭試問を含みます。）の得点の合計により，合否を判定します。（総合点方式） (2) 合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。		

- ◎ 試験は工学部試験場（米沢市城南四丁目3-16）において実施します。
面接時間は1人20分程度とします。
試験当日の注意事項等詳細については，受験票送付時に本人あてに通知します。

4 入学前教育について

本学部では，推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない推薦入試）合格者に対し，入学後の学習が順調に進むように，学習教材を指定してeラーニングによる入学前教育を実施しています。

特に，数学，理科及び英語については，工学を学んでいく上で基礎となる重要な科目であり，ここでのつまずきは，入学してから学ぶことになる専門的な科目の習得に支障を生じさせる可能性がありますので，合格者全員が受講するようにしてください。

なお，入学前教育に係る費用（12,000円程度）については，自己負担とさせていただきます。

詳細は，合格通知の際にお知らせします。

農 学 部

1 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
食 料 生 命 環 境 学 科	40人

2 出願資格・要件

高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者（注）並びに高等専門学校の第3学年を修了した者又は平成29年3月修了見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者

- （1）調査書の全体の評定平均値が3.5以上に属する者で、人物及び学力ともに優秀で、特に農学部食料生命環境学科での勉学を強く希望する者
- （2）合格した場合は、入学することを確約できる者

（注）次のいずれかに該当するものを含みます。

ア 我が国において、当該外国の学校教育制度において12年の課程と同等の課程を有するものとして、文部科学大臣が位置づけた教育施設を修了した者又は修了見込みの者

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者

ウ 国際評価団体の認定を受けた教育施設であって文部科学大臣が指定した教育施設を修了した者又は修了見込みの者

3 選抜方法等

選 抜 期 日	平成28年11月15日（火）		
時 間	9：00～10：30		12：00～17：00（予定）
科 目 等	小 論 文		面 接（口頭試問を含みます。）
選 抜 方 法	調査書，推薦書，志望理由書，小論文及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により総合的に選抜します。		
	配点は次のとおりとします。		
	小 論 文	面接(口頭試問を含みます。)	合 計 点
	100	50	150
採点・評価基準	食料生命環境学科の小論文では，「考察力，論理的思考力，理解力，記述力等」を基準に，面接（口頭試問を含みます。）では，「理解力，表現力，意欲，志望理由，就学状況，社会的活動等」を基準に評価します。なお，小論文では英語を含む基礎学力を問う問題を課すことがあります。		
合 否判定基準	推薦書，調査書及び志望理由書を参考にしながら行った面接（口頭試問を含みます。）と小論文の成績との総合成績により判定します。		

◎ 試験は農学部試験場（鶴岡市若葉町1-23）において実施します。

4 受験者心得

- 1 「山形大学入学試験受験票」について
 - (1) 試験当日は、「山形大学入学試験受験票」を必ず持参し、試験場に入場する際に提示してください。
 - (2) 試験場では、常に「山形大学入学試験受験票」を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。また、試験室等では「山形大学入学試験受験票」に記載されている受験番号と同じ番号がはられている席に着いてください。
 - (3) 試験当日、「山形大学入学試験受験票」を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとってください。
 - (4) 「山形大学入学試験受験票」を紛失した場合は、速やかに志願学部の入試担当（4ページ参照）に申し出てください。
 - (5) 「山形大学入学試験受験票」は、入学試験成績の情報開示請求の際にも必要になりますので、大切に保管してください。
- 2 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合があります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ試験前日までに試験場所在地に到着するなど、各自の責任において必要な対応を取ってください。

(注意) 平成25年2月実施の前期日程試験において、試験当日、降雪による列車ダイヤの乱れ等の交通障害が発生し、多数の受験生が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。
- 3 試験場の下見を希望される方は、試験前日午後の時間帯に指定の試験場をご確認ください。なお、建物内への立ち入りはできません。
- 4 受験者は、試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。
- 5 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- 6 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。
- 7 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。
- 8 筆記試験等における留意点について
 - (1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可。）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）、目薬です。
 - (2) 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。
 - (3) 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。
 - (4) 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。
- 9 携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとな不正行為となることがあります。
- 10 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。
- 11 試験が午後にわたる受験者は、昼食を持参することが望まれます。
- 12 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。
- 13 試験当日、付添者は試験場建物内に立ち入ることができません。
- 14 受験のための宿泊施設については、本学ではあつせんしません。
- 15 試験当日、試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じても本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。

また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいますが、これらの者についても本学と何ら関係なく、個人情報悪用される場合がありますので、慎重に対応してください。

5 合格者の発表

(1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発 表 日 時	発 表 方 法
平成28年11月25日(金) 10時	○合格者の発表は受験番号のみとし、各学部の掲示板に掲示します。 ○本学のホームページの「入試案内」に全学部の合格者の受験番号を掲載します。 (http://www.yamagata-u.ac.jp/jp)

(注) 1 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

(2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書及び入学手続関係書類等を送付します。また、出身学校長には、選抜結果通知書を送付します。

6 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続期間

平成28年12月12日(月)から12月15日(木)まで(必着)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

(2) 入学料

入学手続の際に、入学料を納付していただきます。

学 部	入 学 料
人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部、医学部、工学部昼間コース、農学部	282,000円
工学部フレックスコース	141,000円

(注) 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(3) 提出書類

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

7 授業料

授業料については、入学後に納付していただきます。

学 部	授 業 料	納 付 方 法
人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部、医学部、工学部昼間コース、農学部	年額 535,800円(予定額)	「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。
工学部フレックスコース	年額 267,900円(予定額)	

(注) 1 上記の金額は、未確定のため予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

Ⅳ 推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）

1 出願受付期間等

(1) 出願受付期間

① 理学部

平成29年1月16日(月)から1月19日(木)まで
受付時間は、9時から16時30分までとします。
郵送の場合も1月19日(木)まで必着とします。

② 医学部（医学科）

平成28年11月1日(火)から11月4日(金)まで（祝日を除きます。）
受付時間は、9時から16時30分までとします。
郵送の場合も11月4日(金)まで必着とします。

③ 工学部昼間コース（高分子・有機材料工学科，情報・エレクトロニクス学科， 機械システム工学科）

平成29年1月16日(月)から1月20日(金)まで
受付時間は、9時から16時30分までとします。
郵送の場合も1月20日(金)まで必着とします。

(2) 出願書類の提出先

志願学部の入試担当（4ページ参照）に提出してください。

- (注) 1 出願書類については、「2 出願書類及び出願手続」を参照してください。
2 出願書類受理後は、出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めません。
3 出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。

2 出願書類及び出願手続

出願書類は、学校長の責任のもとに志願者1人ごとに本要項に添付の封筒に入れ、郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

なお、複数の志願者を推薦する学校において、提出先が同じ場合は、志願者ごとの封筒を、「推薦入試入学願書在中」と朱書した別の封筒にまとめて入れ、書留速達扱いとして提出することができます。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書 写真票 受験票 大学入試センター 試験成績請求票 はり付け台紙	○ 本要項に添付の所定の用紙【推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す推薦入試）用】を用い、所定欄に必要な事項をもれなく記入してください。 ○ 「志願者現住所」欄には、願書提出の日から平成29年3月31日（金）まで確実に郵便物を受け取ることができる住所を記入してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を記入してください。 ○ 理学部，工学部昼間コース（高分子・有機材料工学科，情報・エレクトロニクス学科，機械システム工学科）志願者は、「大学入試センター試験成績請求票」欄に、「推薦国公立推薦入試用」成績請求票を必ずはってください。 医学部医学科の志願者は、出願受付期間がセンター試験実施前であるため、成績請求票をはらずに提出してください。なお、提出の際は、必ず受験予定の科目に○を付けてください。「地理歴史」「公民」については、下欄の「第1解答科目」欄に○を付けてください。 ○ 「写真票」の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身，無帽，正面向きの写真（4cm×3cm）をはってください。

出願書類	出願書類作成上の注意
調査書	○ 出身学校長が作成し厳封してください。 1 高等学校又は中等教育学校については、所定の調査書により作成してください。 2 上記1以外の学校については、所定の調査書に準じて作成してください。 なお、理学部理学科の数学分野受験の出願資格・要件(3)及び医学部医学科の出願資格・要件(2)に係る科目について、履修見込みの場合は、備考欄にその旨記載してください。 ※ 医学部医学科では、高等学校又は中等教育学校における学習成績概評がA段階に属し、人物・学力ともに特に優秀であり学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書に㊤と標示することを希望します。なお、この場合には、備考欄にその理由を明示してください。また、㊤標示を合否判定の資料としても使用します。
推薦書	○ 本要項に添付の所定の用紙により、出身学校長が作成し厳封してください。 ○ 「推薦書記入上の注意」をよく読んで記入してください。
志望理由書	○ 本要項に添付の所定の用紙を用いてください。 ○ 「志望理由書記入上の注意」をよく読んで記入してください。 ※ 工学部昼間コースの志願者は、提出する必要はありません。
山形大学入学試験 検定料納付証明書	○ 検定料 17,000円 1 払込期間 (1) 理学部 平成29年1月10日(火)から平成29年1月19日(木)まで (2) 医学部(医学科) 平成28年10月25日(火)から平成28年11月4日(金)まで (3) 工学部昼間コース(高分子・有機材料工学科, 情報・エレクトロニクス学科, 機械システム工学科) 平成29年1月10日(火)から平成29年1月20日(金)まで 2 払込方法 (1) 本要項に添付の所定の「払込書【推薦入試用】」を用いて、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局から払い込んでください。 なお、ATM(現金自動預払機)は使用できません。必ず窓口で払い込んでください。 (2) 各票の※印欄に、志願者(本人)の郵便番号・住所・氏名・電話番号をボールペンで正確に記入してください。 (3) 「払込取扱票」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」に志願する学部・学科・コース名を記入してください。 (4) 「振替払込請求書兼受領証」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」をゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取る際には、必ず受付銀行又は局の「日附印」があることを確認してください。 3 <u>ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取った「山形大学入学試験検定料納付証明書」を提出してください。</u>

出願書類	出願書類作成上の注意
山形大学入学試験 検定料納付証明書	4 出願受付後に、各学部・学科で指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験していないことが判明した場合は、検定料17,000円のうち13,000円を返還しますので、申し出てください。(医学部医学科を除く。)なお、申出期限は平成29年3月31日(金)までとします。 5 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (1) 検定料を払い込んだが出願しなかった場合(出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。) (2) 誤って検定料を二重に払い込んだ場合 ※ 返還についての問い合わせは、各学部入試担当(4ページ参照)をお願いします。なお、申出期限は平成29年3月31日(金)までとします。 6 本学では、東日本大震災又は平成28年熊本地震で被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、平成29年度学部入学者選抜試験に係る検定料について、免除の特別措置を行います。詳細は、表紙裏面の目次の次頁下でご確認願います。
ラベル票	○ 本要項に添付の「ラベル票」に郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、提出してください。
返信用封筒	○ 本要項に添付の所定の封筒(受験票送付用)に郵便番号・住所・氏名を記入し、362円分の切手(速達)をはって提出してください。

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備のある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。
- 2 記入に当たってはボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。訂正する場合は、二重線で消し訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍(日本国籍を有しない者は、住民票)のとおりにしてください。

3 学部別募集要項細目

理 学 部

1 募集人員

学 科 ・ 選 抜 区 分 名		募 集 人 員
理 学 科	数 学 分 野 受 験	10人
	化 学 分 野 受 験	7人
	生 物 学 分 野 受 験	5人
	地 球 科 学 分 野 受 験	10人

2 出願資格・要件

選 抜 区 分 名	出 願 資 格 ・ 要 件
数 学 分 野 受 験	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者(注)又は学校教育法施行規則第93条第3項及び第103条第1項並びに単位制高等学校教育規程第3条の規定に基づき、平成28年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者。ただし、学校長が推薦できる人数は、1校につき2人以内とします。 (1) 特に理数的分野に高い関心と強い意欲をもつ者で、人物、学力共に優秀な者 (2) 平成29年度大学入試センター試験（数学分野受験で指定された教科・科目）を受験した者 (3) 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A及び数学B（理数科にあっては、理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ及び理数数学特論）を履修した者又は履修見込みの者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
化 学 分 野 受 験	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者(注)又は学校教育法施行規則第93条第3項及び第103条第1項並びに単位制高等学校教育規程第3条の規定に基づき、平成28年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 特に化学の勉学を強く希望する者で、人物、学力共に優秀な者 (2) 平成29年度大学入試センター試験（化学分野受験で指定された教科・科目）を受験した者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

選 抜 区 分 名	出 願 資 格 ・ 要 件
生 物 学 分 野 受 験	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年 3 月卒業見込みの者（注）又は学校教育法施行規則第93条第 3 項及び第103条第 1 項並びに単位制高等学校教育規程第 3 条の規定に基づき、平成28年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 特に生物学に強い関心と勉学意欲をもつ者で、人物、学力共に優秀な者 (2) 平成29年度大学入試センター試験（生物学分野受験で指定された教科・科目）を受験した者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。
地 球 科 学 分 野 受 験	高等学校若しくは中等教育学校を平成29年 3 月卒業見込みの者（注）又は学校教育法施行規則第93条第 3 項及び第103条第 1 項並びに単位制高等学校教育規程第 3 条の規定に基づき、平成28年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者 (1) 特に地球科学の勉学を強く希望する者で、人物、学力共に優秀な者 (2) 平成29年度大学入試センター試験（地球科学分野受験で指定された教科・科目）を受験した者 (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

3 選抜日時、試験科目等

選抜期日：平成29年 1 月 28 日（土）

科目及び時間

選 抜 区 分 名	科 目 等	時 間
数 学 分 野 受 験	面接（口頭試問を含みます。）	9：00～13：00（予定）
化 学 分 野 受 験	面接（口頭試問を含みます。）	9：00～13：00（予定）
生 物 学 分 野 受 験	面接（口頭試問を含みます。）	9：00～13：00（予定）
地 球 科 学 分 野 受 験	面接（口頭試問を含みます。）	9：00～13：00（予定）

4 選抜方法及び成績の評価

大学入試センター試験の受験を要する教科、科目及び配点については、31～32ページを参照してください。

数学分野受験

大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書，志望理由書による書類審査及び面接（口頭試問を含みます。）により選抜します。

成績 の 評価	センター試験	書類審査及び面接 (口頭試問を含みます。)	合計点
	800	400	1,200

採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）では，考察力，推理力，論理的思考力の他に，理数的分野に対する意欲，関心の度合いを基準に評価します。
合 否 判 定 基 準	大学入試センター試験の成績，面接（口頭試問を含みます。），調査書，推薦書及び志望理由書の総合点により合否を判定します。

化学分野受験

大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書，志望理由書による書類審査及び面接（口頭試問を含みます。）により選抜します。

成績 の 評価	センター試験	書類審査及び面接 (口頭試問を含みます。)	合計点
	600	400	1,000

採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）では，学業面，生活面，知識面（専門性と基礎学力）を中心に専門分野への意欲や関心の度合い及び協調性や社会性などを加味して評価します。
合 否 判 定 基 準	大学入試センター試験の成績，面接（口頭試問を含みます。），調査書，推薦書及び志望理由書の総合点により合否を判定します。

生物学分野受験

大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書，志望理由書による書類審査及び面接（口頭試問を含みます。）により選抜します。

成績 の 評価	センター試験	書類審査及び面接 (口頭試問を含みます。)	合計点
	900	300	1,200

採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）では，学業面，生活面，知識面（専門性と基礎学力）を中心に専門分野への意欲や関心の度合い及び協調性や社会性などを加味して評価します。
合 否 判 定 基 準	大学入試センター試験の成績，面接（口頭試問を含みます。），調査書，推薦書及び志望理由書の総合点により合否を判定します。

地球科学分野受験

大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書，志望理由書による書類審査及び面接（口頭試問を含みます。）により選抜します。

成績 の 評価	センター試験	書類審査及び面接 (口頭試問を含みます。)	合計点
	800	100	900

採点・評価基準	地球科学に対する関心と意欲，論理的思考力，推理力，表現力を基準に評価します。
合否判定基準	大学入試センター試験の成績，面接（口頭試問を含みます。），調査書，推薦書及び志望理由書の総合点により合否を判定します。

(注) 面接の方法：地球科学分野受験の面接では，適性や表現力を見るために簡単な作業を課して，その結果を発表してもらう場合があります。

◎ 試験は理学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。

詳細については，受験票送付時に本人あてに通知します。

5 大学入試センター試験について

受験を要する教科，科目及び配点

選 抜 区 分 名	大学入試センター試験の利用教科・科目名		配 点
	教科	科 目 名	
数 学 分 野 受 験	国 地歴 公民 数	国 世A，世B，日A，日B，地理A，地理B } から1 現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B，簿，情報から1	国 200 地歴(100) 公民(100) 数 200
	理 外	物，化，生，地学から1 英（リスニングを含みます。）， 独，仏，中，韓から1 [5 教科 6 科目]	理 100 外 200※ 計 800
化 学 分 野 受 験	数	数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1	数 200
	理 外	化 物，生，地学から1 英（リスニングを含みます。）， 独，仏，中，韓から1 [3 教科 5 科目]	理 200 外 200※ 計 600

生物学分野受験	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから 1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から 1 以下のパターン①又は②から 1 ①物基, 化基, 地学基から 2 生 ②生 物, 化, 地学から 1 英 (リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓から 1 [5教科7科目又は5教科8科目]	国 200 地歴(100) 公民(100) 数 200 理 200 外 200※ 計 900
地球科学分野受験	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から 1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから 1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から 1 以下のパターン①又は②から 1 ①物基, 化基, 生基, 地学基から 2 ②物, 化, 生, 地学から 1 英 (リスニングを含みます。), 独, 仏, 中, 韓から 1 [5教科6科目又は5教科7科目]	国 200 地歴(100) 公民(100) 数 200 理 100 外 200※ 計 800

- (注) 1 大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」について、2科目受験した場合、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。
- 2 大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 3 数学分野受験及び地球科学分野受験において、大学入試センター試験の「理科」について、「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。
- 4 地球科学分野受験において、「理科」について、「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目を受験した場合は、高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は2科目の合計）を用います。
- 5 大学入試センター試験の「数学」において、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。
- 6 配点欄の（ ）内の数字は、選択科目の配点を示します。
- 7 配点欄の※印について
大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合、配点は筆記200点満点とリスニング50点満点の合計得点を200点満点に換算します。

医 学 部 （ 医 学 科 ）

1 募集人員

学 科 名	募 集 人 員
医 学 科	30人

2 出願資格・要件

- 高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者（注）で、次の要件をすべて満たし、学校長が責任をもって推薦できる者
- (1) 調査書の学習成績概評がA段階に属する者で、人物・学力共に優秀で、特に医学科での勉学を強く希望する者
 - (2) 次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者
 - ① 数学については、数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A及び数学B（理数科にあつては、理数数学Ⅰ，理数数学Ⅱ及び理数数学特論）
 - ② 理科については、物理，化学及び生物のうち2科目以上（理数科にあつては、理数物理，理数化学及び理数生物のうち2科目以上）
 - (3) 平成29年度大学入試センター試験（本学科が指定した教科・科目）を受験する者
 - (4) 合格した場合は、医学科に入学することを確約できる者
- （注）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を平成28年度中に修了した者又は修了見込みの者を含みます。

3 選抜方法等

選 抜 期 日	平成28年11月16日(水)		
時 間	13：00～17：00（予定）		
科 目 等	面 接		
採点・評価基準	調査書，推薦書並びに志望理由書及び面接の結果により，総合的に評価します。 面接では，医療人としての適性を評価します。 配点は，次のとおりとします。		
	センター試験	面 接	総合点
	900	50	950
合 否 判 定 基 準	大学入試センター試験，面接（調査書，推薦書，志望理由書の評価を含みます。）の成績に基づき総合的に判定します。 なお，面接の結果によっては，総合点にかかわらず不合格とすることがあります。 また，総合点が高点の場合は，面接の得点により順位を付けます。		

- ◎ 試験は医学部試験場（山形市飯田西二丁目2-2）において実施します。
 なお，詳細については，受験票送付時に本人あてに通知します。

4 大学入試センター試験について

受験を要する教科，科目及び配点

大学入試センター試験の利用教科・科目名		配 点
教科	科 目 名	
国 地歴 公民 数 理 外	国 世 B，日 B，地理 B } から 1 倫・政経 数Ⅰ・数 A 数Ⅱ・数 B 物，化，生から 2 英（リスニングを含みます。），独，仏から 1 〔5 教科 7 科目〕	国 200 (200) 地歴※100 (100) 公民※100 (100) 数 200 (200) 理 200 (200) 外 200 〔筆記試験 (200)〕 〔リスニング (50)〕 計 900

- (注) 1 大学入試センター試験の「地理歴史」及び「公民」について，2 科目受験した場合，解答順に，前半に受験した科目を「第 1 解答科目」，後半に受験した科目を「第 2 解答科目」とし，第 1 解答科目の成績を用います。
- 2 配点欄の () 書は，大学入試センター試験の素点を示します。
※印を付してある教科は選択科目を表します。
- 3 大学入試センター試験の「外国語」で「英語」を選択した場合，配点は筆記試験 200 点満点とリスニング 50 点満点の合計得点を 200 点満点に換算します。

工 学 部 昼 間 コ ー ス

(高分子・有機材料工学科, 情報・エレクトロニクス学科, 機械システム工学科)

1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス 名		募 集 人 員
高 分 子 ・ 有 機 材 料 工 学 科		5 人
情報・エレクトロニクス学科	情 報 ・ 知 能 コ ー ス	5 人
	電 気 ・ 電 子 通 信 コ ー ス	5 人
機 械 シ ス テ ム 工 学 科		9 人

2 出願資格・要件

出 願 要 件	高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者（(注) 1）で、次の要件をすべて満たし、学校長が適性を考慮して、責任をもって推薦できる者 (1) 調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者で、人物・学力ともに優秀な者 (2) 平成29年度大学入試センター試験（本学科で指定した教科・科目）を受験した者（(注) 2） (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者 (注) 1 次のいずれかに該当する者を含みます。 ア 高等専門学校の第3学年を修了した者又は修了見込みの者 イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は修了見込みの者 2 平成28年度大学入試センター試験以前の成績は利用しません。
---------	--

3 選抜方法等

選 抜 期 日	平成29年 1 月28日（土）		
時 間	9：00～13：00（予定）		
科 目 等	次の内容を中心に行います。		
	学 科	科 目	内 容
	高分子・有機材料工学科	面 接 (口頭試問を含みます。)	高分子や有機材料に関する興味等
	情報・エレクトロニクス学科 (情 報 ・ 知 能 コー ス)		情 報 に 関 する 興 味 等
	情報・エレクトロニクス学科 (電気・電子通信コース)		科 学 技 術 に 関 する 興 味 等
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	機 械 工 学 に 関 する 興 味 等		
選 抜 方 法	大学入試センター試験の成績及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により選抜します。 なお、面接（口頭試問を含みます。）では調査書及び推薦書を参考にします。 配点は、次のとおりとします。		
	センター試験	面接（口頭試問を含みます。）	合計
	650	200	850

採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）は、次の項目を基準に評価します。 ○ 志望動機，学習意欲，基礎学力，表現力
合否判定基準	(1) 大学入試センター試験の成績及び面接（口頭試問を含みます。）の成績の合計により，合否を判定します。（総合点方式） (2) 合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。

◎ 試験は工学部試験場（米沢市城南四丁目 3－16）において実施します。

面接時間は 1 人 20 分程度とします。

試験当日の注意事項等詳細については，受験票送付時に本人あてに通知します。

4 大学入試センター試験について

受験を要する教科，科目及び配点

学 科	大学入試センター試験の利用教科・科目名		配 点
	教科	科 目 名	
高分子・有機材料工学科 情報・エレクトロニクス学科 機械システム工学科	数	数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1	数 200(200)
	理	数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1	理 200(200)
	外	物，化，生から2 英（リスニングを含みます。）	外 250 〔筆記試験(200)〕 〔リスニング(50)〕
		〔3教科5科目〕	計 650(650)

(注) 1 大学入試センター試験の「数学」について，「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。

2 配点欄の（ ）書きは，大学入試センター試験の素点を示します。

4 受験者心得

- 1 「大学入試センター試験受験票」及び「山形大学入学試験受験票」について
 - (1) 試験当日は、「大学入試センター試験受験票」と「山形大学入学試験受験票」の2つを必ず持参し、試験場に入場する際に提示してください。ただし、医学部医学科受験者は、「山形大学入学試験受験票」のみ（以下同じ。）提示してください。
 - (2) 試験場では、常に2つの受験票を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。また、試験室では「山形大学入学試験受験票」に記載されている受験番号と同じ番号がはられている席に着いてください。
 - (3) 試験当日、受験票（いずれか一方の受験票又は両受験票）を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとってください。
 - (4) これらの受験票を紛失した場合は、速やかに志願学部の入試担当（4ページ参照）に申し出てください。
 - (5) 「山形大学入学試験受験票」は、入学試験成績の情報開示請求の際にも必要になりますので、大切に保管してください。
- 2 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合があります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ試験前日までに試験場所在地に到着するなど、各自の責任において必要な対応を取ってください。

（注意）平成25年2月実施の前期日程試験において、試験当日、降雪による列車ダイヤの乱れ等の交通障害が発生し、多数の受験生が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。
- 3 試験場の下見を希望される方は、試験前日午後の時間帯に指定の試験場をご確認ください。なお、建物内への立ち入りはできません。
- 4 受験者は、試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。
- 5 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- 6 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。
- 7 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。
- 8 筆記試験等における留意点について
 - (1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可。）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）、目薬です。
 - (2) 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。
 - (3) 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。
 - (4) 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。
- 9 携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとな不正行為となることがあります。
- 10 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。
- 11 試験が午後にわたる受験者は、昼食を持参することが望まれます。
- 12 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。
- 13 試験当日、付添者は試験場建物内に立ち入ることができません。
- 14 受験のための宿泊施設については、本学ではあつせんしません。
- 15 試験当日、試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じても本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。

また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいますが、これらの者についても本学と何ら関係なく、個人情報悪用される場合がありますので、慎重に対応してください。

5 合格者の発表

(1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発 表 日 時	発 表 方 法
平成29年 2 月 6 日(月) 10時	○合格者の発表は受験番号のみとし、各学部の掲示板に掲示します。 ○本学のホームページの「入試案内」に当該学部の合格者の受験番号を掲載します。 (http://www.yamagata-u.ac.jp/jp)

(注) 1 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

(2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書及び入学手続関係書類等を送付します。また、出身学校長には選抜結果通知書を送付します。

6 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続期間

平成29年 2 月10日(金)から 2 月15日(水)まで(必着) (土・日曜日を除きます。)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

(2) 入学料

入学手続の際に、入学料を納付していただきます。

学 部	入 学 料
理学部, 医学部, 工学部昼間コース	282,000円

(注) 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(3) 提出書類

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

7 授業料

授業料については、入学後に納付していただきます。

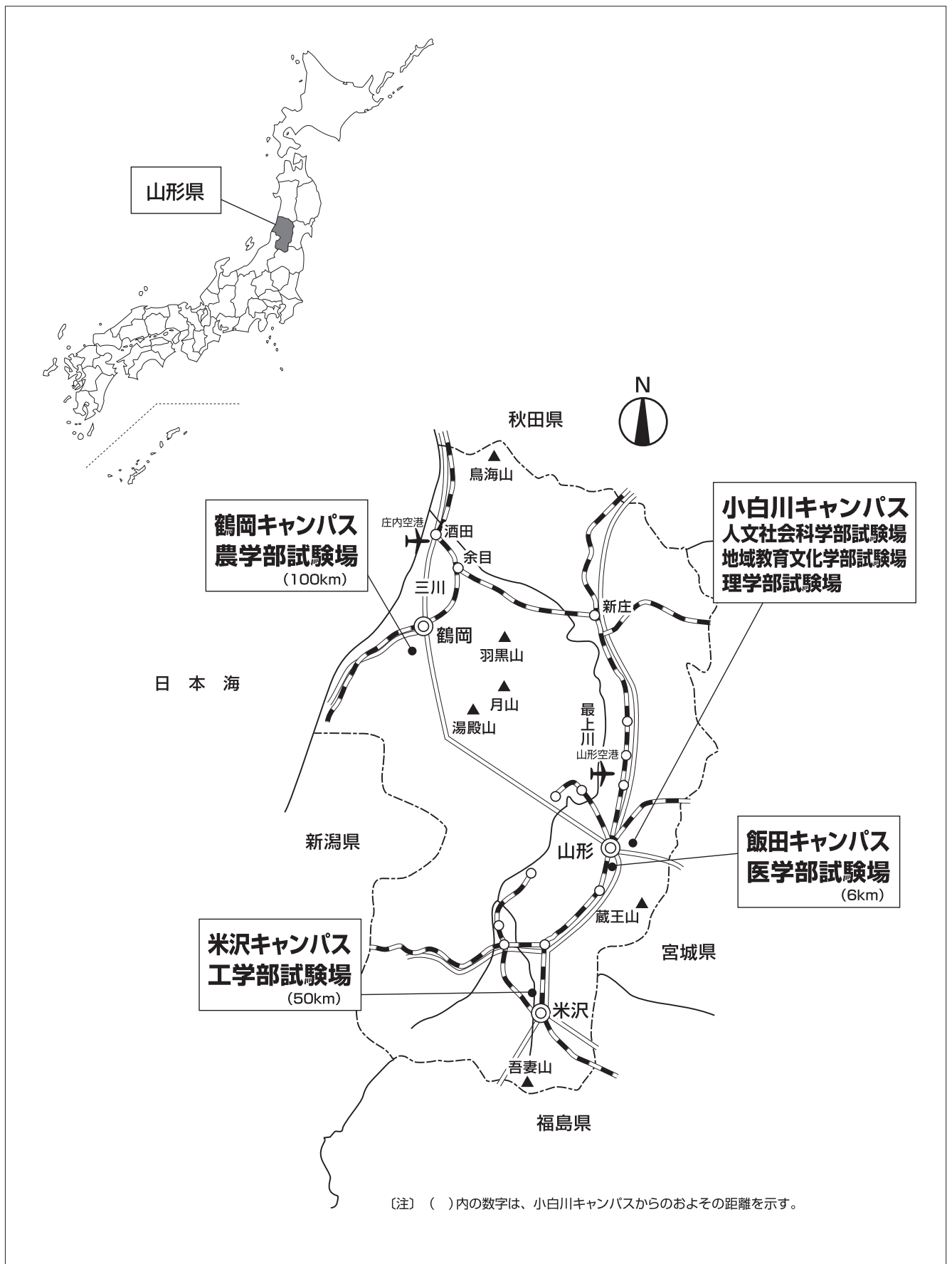
学 部	授 業 料	納 付 方 法
理学部, 医学部, 工学部昼間コース	年額 535,800円 (予定額)	「年1回払い」, 「年2回払い」, 「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

(注) 1 上記の金額は、未確定のため予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

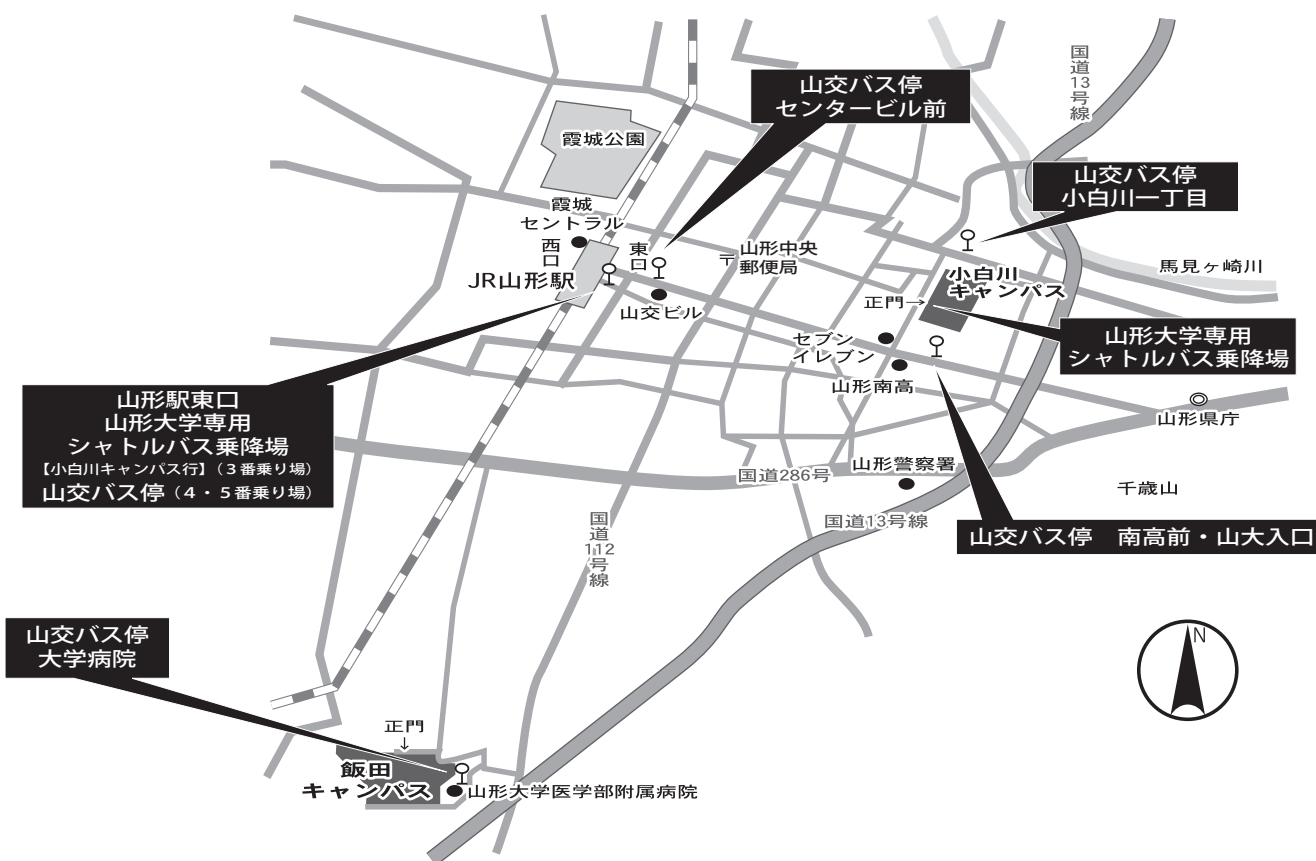
V 山形大学試験場案内図



小白川キャンパス

人文社会科学部試験場，地域教育文化学部試験場，理学部試験場
山形市小白川町一丁目 4-12

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 山形駅東口から，東方へ約2.3km	約35分
山形大学 専用シャ トルバス	入学試験時には，J R 山形駅前停留所と小白川キャンパスを結ぶシャトルバスを無料で ご利用いただけます。ただし，平成29年1月28日（土）に実施される推薦 入試Ⅱ（理学部）においては，運行されませんのでご注意ください。 ・入試当日はキャンパス付近の混雑が予想されますので，時間に余裕を持っ てお越しください。 ・時刻表の詳細については，山形大学携帯サイト (http://daigakuje.jp/yamagata-u/) からご確認ください。	約10分
路線バス	J R 山形駅前停留所（5番乗り場）から「宝沢・関沢」行きバスで「小白川一丁目」下車 （約11分），徒歩3分	約14分
	J R 山形駅前停留所（4番乗り場）から「山形県庁」行きバスで「南高前・山大入口」下車 （約7分），徒歩7分	約14分
	J R 仙台駅前から「山形駅前」行き高速バスで「南高前・山大入口」下車（約65分），徒 歩7分	約72分



飯田キャンパス

医学部試験場
山形市飯田西二丁目 2-2

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 山形駅東口から南方へ約4 km	約65分
路線バス (山交バス)	J R 山形駅前停留所（4番乗り場）から「大学病院・東海大山形高」行きバスで 「大学病院」下車	約15分

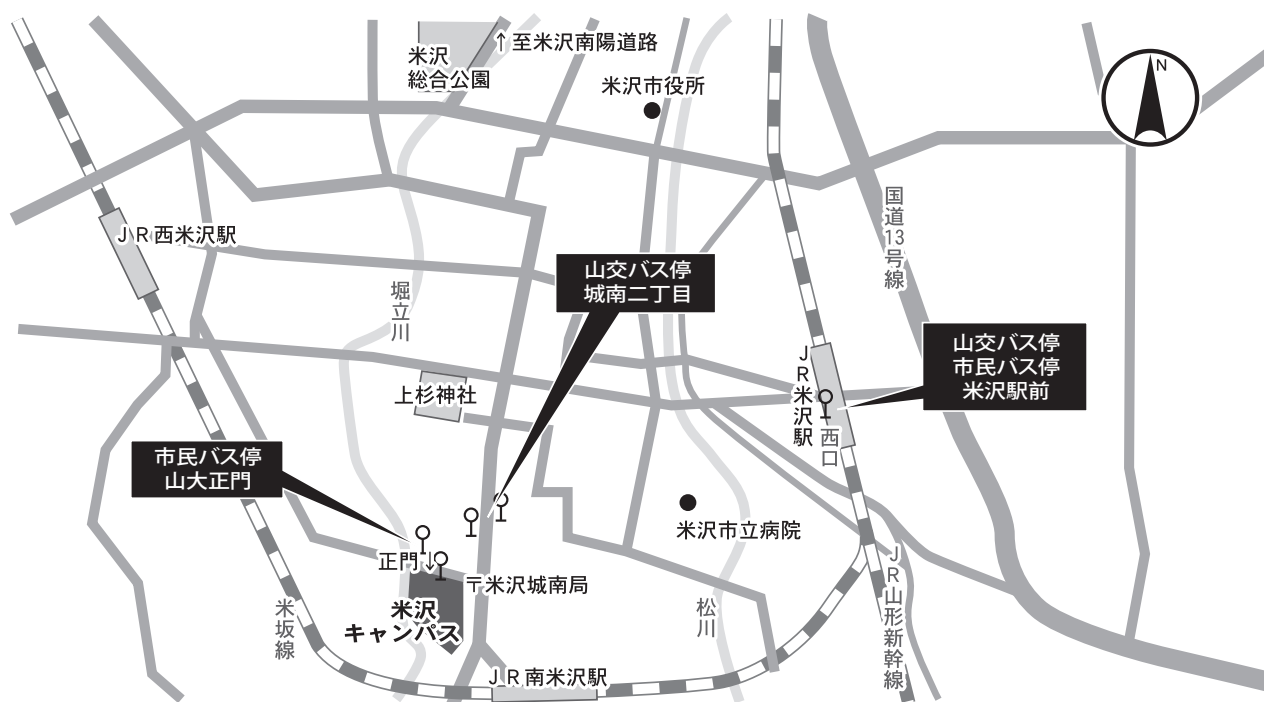
米沢キャンパス

工学部試験場

米沢市城南四丁目 3-16

※ J R 山形駅から J R 米沢駅までの所要時間は約45分

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 米沢駅から南西へ約3.4km	約55分
	J R 南米沢駅出口から北西へ約1 km	約15分
市民バス	J R 米沢駅前停留所から「市街地循環バス右回り（ヨネザアド号（青色のバス））」で「山大正門」下車 ※運行状況： http://www.busnav.net/yonezawa/	約15分
路線バス (山交バス)	J R 米沢駅前停留所から「白布温泉」行きバスで「城南二丁目」下車(約10分)，徒歩3分	約13分

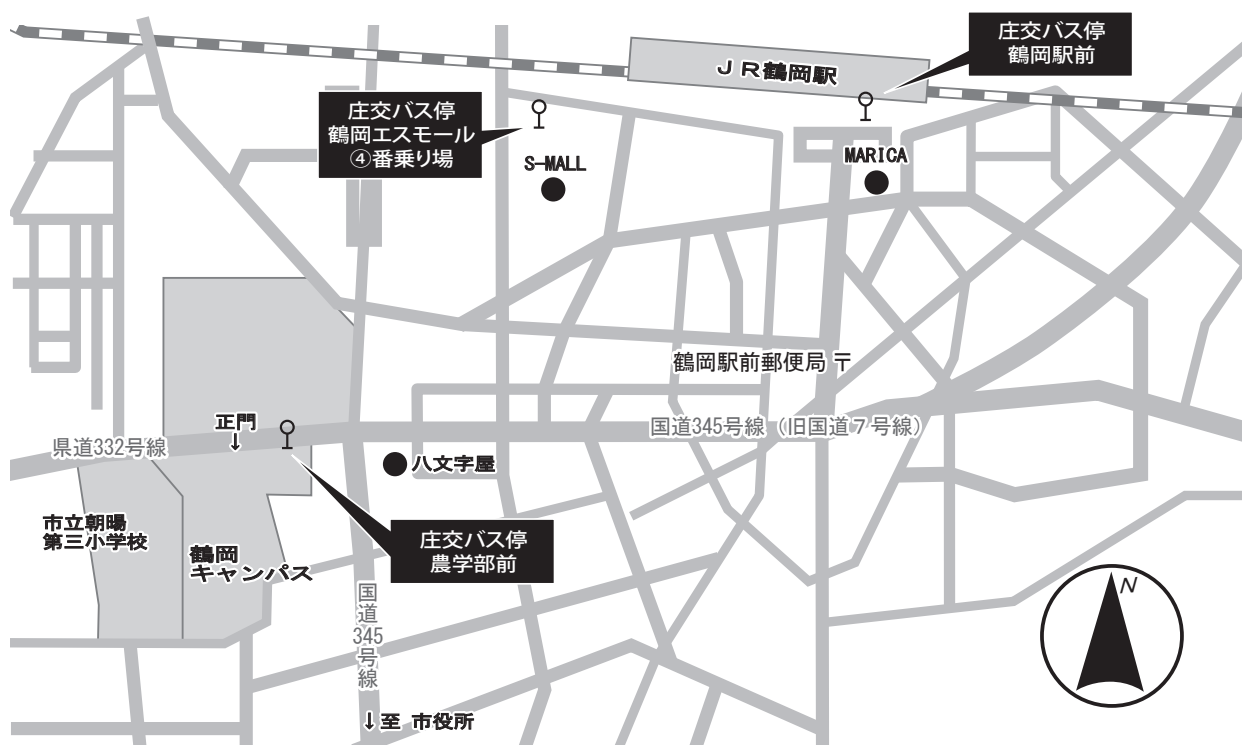


鶴岡キャンパス

農学部試験場
鶴岡市若葉町1-23

※ J R 山形駅から鶴岡S-MALLまでの所要時間は、高速バス約120分

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 鶴岡駅から南西へ約1.4km	約20分
路線バス	J R 鶴岡駅前から「鶴岡市内廻り3・4コース」で「農学部前」下車 ※運行状況： http://www.shonaihotsu.jp/local_bus/index.html#turuoka	約4分



大学案内及び各学部のパンフレット請求方法

◎ 大学案内及び各学部のパンフレットをご希望の方は以下により請求してください。

なお、請求される際は、テレメール又はモバっちょが定める個人情報の取り扱いについてご確認くださいませようお願いいたします。

1 山形大学ホームページからの請求方法

本学ホームページ(<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp>)「入試案内」又は「受験生の方」の「資料請求」から、直接テレメール又はモバっちょによる請求ができます。

2 テレメールによる請求方法

インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は電話で請求できます。



パソコン・スマートフォン・携帯電話	自動音声応答電話
https://telemail.jp ※スマートフォン・携帯電話でバーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。	I P 電話※ (050) 8601-0101 (24時間受付)



※ I P 電話：一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも 3 分ごとに約 12 円です。

資 料 名	資料請求番号	料金 (送料含)
大学案内	561022	料金 (送料含) は資料等の重量により異なります。
人文社会科学部案内	561032	
地域教育文化学部案内	561042	
理学部案内	581032	

資 料 名	資料請求番号	料金 (送料含)
医学部医学科案内	581042	料金 (送料含) は資料等の重量により異なります。
医学部看護学科案内	541042	
工学部パンフレット	561092	
農学部案内	581092	

※自動音声応答電話によるご請求の場合、住所・氏名の録音時は、ゆっくりはっきりとお話してください。録音された音声の不鮮明な場合は、電話で住所・氏名を確認することがありますので、電話番号は必ずご登録ください。

【料金の支払い方法】

資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後一週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です（コンビニ支払いは 86 円。ゆうちょ銀行・郵便局の A T M 扱いは 80 円、窓口扱いは 130 円。ケータイ払いは 50 円。クレジットカード払いは 50 円）。

また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

テレメールでの請求方法についてのお問い合わせは

テレメールカスタマーセンター 050-8601-0102 (9 : 30 ~ 18 : 00) まで

3 モバっちょによる請求方法

インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）から請求できます。



<http://djcm-mb.jp/yamagata-u3/>



資 料 名	料金 (送料含)
大学案内	200 円
人文社会科学部案内	200 円
地域教育文化学部案内	200 円
理学部案内	200 円

資 料 名	料金 (送料含)
医学部医学科案内	200 円
医学部看護学科案内	200 円
工学部パンフレット	200 円
農学部案内	200 円

【料金の支払い方法】

① スマートフォン・携帯払い、クレジットカード払いができます。（支払手数料は別途 50 円必要です。）※スマートフォン・携帯電話の機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒に支払いできない場合があります。その場合、②のコンビニ後払いを選択してください。

② 資料到着後、コンビニでお支払いください。（支払手数料は別途 126 円必要です。）

モバっちょでの請求方法についてのお問い合わせは

大学情報センター株式会社モバっちょカスタマーセンター 050-3540-5005 (10 : 00 ~ 18 : 00) まで

〔 入 試 情 報 〕

■山形大学ホームページ 「入試案内」 又は 「受験生の方」

<http://www.yamagata-u.ac.jp/jp>



■携帯電話サイト

<http://daigakuic.jp/yamagata-u/>

本サイトでメールマガジン登録をしていただいた方には、
山形大学の入試情報等をお送りします。



◎お問い合わせ

内 容	入 試 担 当	住 所	電 話
入試全般に関する こと	エンロールメント・マネジメント部入試課	〒990-8560 山形市小白川町一丁目 4-12	(023) 628-4141
人文社会科学部に関する こと	人 文 学 部 入 試 担 当		(023) 628-4207
地域教育文化学部に関する こと	地域教育文化学部入試担当		(023) 628-4310
理学部に関する こと	理 学 部 入 試 担 当		(023) 628-4710
医学部に関する こと	医 学 部 入 試 担 当	〒990-9585 山形市飯田西二丁目 2-2	(023) 628-5049
工学部に関する こと	工 学 部 入 試 担 当	〒992-8510 米沢市城南四丁目 3-16	(0238) 26-3013
農学部に関する こと	農 学 部 学 務 担 当	〒997-8555 鶴岡市若葉町 1-23	(0235) 28-2808

注) お問い合わせは、8:30～17:00 (土・日曜日、祝日及び12月29日～1月3日を除く。) の時間帯でお願いします。

発行年月日：平成28年 9 月 8 日

作 成：山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課

〒990-8560 山形市小白川町一丁目 4-12

TEL (023) 628-4141



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。